

弱虫ペダル × 長崎市 コラボ企画の概要

1 事業の概要

(1) 下水道供用開始 60 周年記念事業

下水道事業が供用開始 60 周年を迎えることに併せ、下水道事業を PR する。

(2) アニメツーリズム推進事業

新たな観光コンテンツを創出し、観光客の誘致及び市内全域の周遊促進を図る。

(3) 長崎市まちづくりアイデアコンテスト

令和2年度に、古賀小学校児童（当時6年生）から提案された『長崎の坂道ロードレース』という作品で、「弱虫ペダルと一緒に長崎市を応援できないか」「坂の多い長崎の特徴を活かした自転車ロードレースを開催してはどうか」「コロナの影響で旅行に行きづらいため、長崎ならではの美しい景色を眺めながら面白い企画があれば楽しいのではないかと提案されたため、その実現を図る。

2 弱虫ペダルマンホールについて

(1) 製作・設置

- ・市内の観光施設・景観スポット 27 か所に、『弱虫ペダルマンホール』を設置。
- ・設置時期は、第1弾にあっては11月6日(土)午後下記の設定場所9か所に、第2弾にあっては今年度中に残り18か所に設置。
- ・27枚は全て違うキャラクターを使用。
- ・デザインの詳細は、11月のイベントまで非公開とする。

(2) 設置場所の選定

渡辺先生が希望する区域の中で、主に次の事項を満たす場所を、設置場所として選定した。

- ①訪問者が見やすく安全に滞留でき、交通の支障にならないこと。
- ②バリアフリーの観点から、誰でも訪れることができること。
- ③車道には設置しないこと。
- ④腐食環境化（硫化水素が多い場所）でないこと。

(3) 設置場所

訪れた方々に「デザインマンホールを探す楽しみ」を感じていただきたいので、設置場所の写真などの詳細な場所は公開していない。 ※設置場所の位置図を次ページに掲載。

3 実施するイベントについて

○渡辺航先生による講演会

渡辺先生の出身中学校をメイン会場とし、渡辺先生の講演会を行う。

(1) 日時 令和3年11月5日(金) 午後※時間調整中

(2) 場所 東長崎中学校（渡辺先生の出身校）

※「まちづくりアイデアコンテスト」の児童が現在在籍している。

※渡辺先生の出身校 古賀小学校のオンライン参加を調整中。

○弱虫ペダルマンホール完成記念セレモニー

弱虫ペダルマンホールの完成を記念するセレモニーを開催する。 ※招待者のみの参加

(1) 日時 令和3年11月6日(土) 10時開始（約1時間程度）

(2) 場所 長崎港松が枝国際ターミナル

(3) デザインマンホールお披露目

デザインマンホール計27点の「実物大レプリカ」をパネルに設置し、一斉にお披露目する。

○弱虫ペダルコラボ記念ライド

民間団体が主催する「第9回ツール・ド・ちゃんぽん in 長崎伊王島」と連携し、弱虫ペダルとのコラボを記念する自転車イベント（※レースではない。）を開催する。

(1) 日時 令和3年11月7日（日） 9時30分開会式、10時大会スタート

(2) 場所 伊王島海水浴場

(3) その他

- ・九州在住者に限定し、規模を縮小して実施。
- ・エントリーは、10/15(金)に受付終了。
- ・渡辺先生の選手としての参加は、調整中。

■第1弾「弱虫ペダルマンホール」 設置場所位置図



デザインマンホールとは

「デザインマンホール」とは、日本全国各地に存在する、各地域独特の意匠を取り入れたマンホールの蓋のこと。「ご当地マンホール」ともいう。

1 デザイン

- ・採用されているデザインは、地方の名物や観光名所が描かれている。
- ・2016年現在で、1,700の自治体に合計1万2,000種ほど存在すると見られている。

2 構造

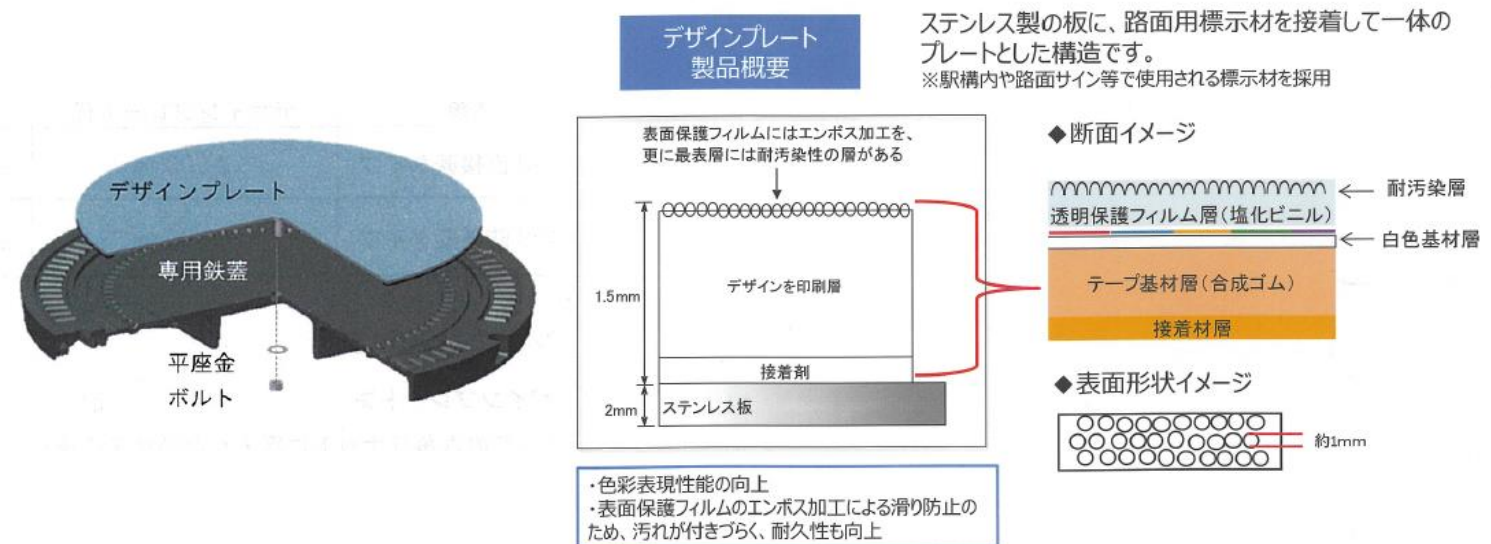
「弱虫ペダルマンホール」は、「デザインストリーマー型」と呼ばれる。(歩道設置用)

※デザイン部分が通常のマンホールと同じ「鋳型」のものと、「デザインプレート」になっているものの2種類がある。

○デザインストリーマー型デザインマンホールとは

- ・デザインが印刷された「デザインプレート」を、専用鉄蓋に固定します。
- ・ふた裏で専用鉄蓋と固定するため、盗難防止性が高くなっています、
- ・鉄蓋は、一般的なマンホール蓋と同様、専用工具でしか取り外しできません。
- ・一般的なマンホール蓋と同じ受枠に設置することができます。
- ・大きさ：直径60cm（デザイン部分：直径50cm）
- ・重さ：30kg/1枚

参考 日之出水道機器株式会社 資料抜粋



3 現在設置している長崎市のデザインマンホール

「あじさい」のカラーマンホール蓋を南山手地区町並み保存センター周辺に設置しています。



弱虫ペダルについて

1 原作者について

- ・氏名 渡辺 航 (わたなべ わたる) 現在 51 歳 (1971 年生まれ)
- ・出身地 長崎市古賀町 (古賀小学校→東長崎中学校→西陵高校→長崎大学)
- ・来歴
 - 2000 年まで 集英社、講談社等の漫画賞に入選するが、連載チャンスに恵まれず。
 - 2001 年 講談社で連載デビューするが、全 14 回で打ち切り
 - 2002 年 長崎放送に美術部スタッフとして入社するが、夢を諦めず入社 1 年で退社し上京。
 - 2005 年 秋田書店で『電車男』の漫画企画の作画担当となる。
 - 2007 年 講談社で『まじもじるるも』の連載開始。(2019 年まで連載)
 - 2008 年 秋田書店の週刊少年チャンピオンで『弱虫ペダル』の連載開始。
 - 2012 年 『弱虫ペダル』のスピンオフ作品『弱虫ペダル SPARE BIKE』の連載開始。
 - 2015 年 『弱虫ペダル』で講談社漫画賞 (少年部門) を受賞。自転車活用推進研究所が指名する「自転車名人」の第 6 代目に就任。
- ・その他
 - 自転車チーム「弱虫ペダルサイクリングチーム」を立ち上げ、監督を務める。プロツアーの 1 つ下のカテゴリとなる E1 (エリートツアー) で参戦し、国内でトップクラスの成績を残している。本格的に自転車に乗っており、神戸から長崎へ 5 日間 680 km かけて走ったこともある。

2 作品の概要

- ・自転車ロードレースを題材にした本格的なスポーツ漫画。本編では、主人公の高校生「小野田坂道」が所属する「総北高校自転車競技部」を中心に、高校インターハイへの挑戦が描かれる。
- ・本編のほか、高校 3 年生のキャラクターに焦点を当てたスピンオフ作品『弱虫ペダル SPARE BIKE』が連載されている。
- ・タイトルは、原作者が自転車に乗る際、軽いギアで回転数をあげてペダルを回す乗り方を「弱虫ペダル」と名付けていたことが由来。
- ・既刊 74 巻 (2021 年 9 月 8 日時点)
- ・累計発行部数 2500 万部突破 (2020 年 7 月時点)
- ・舞台化 2012 年から現在まで 16 タイトルが公演されている。
- ・アニメ化 2013 年から 2018 年までにかけて第 4 期まで地上波放送。3 作品が劇場公開。
- ・実写映画化 2020 年に永瀬廉 (King&Prince) 主演で劇場公開。

3 ストーリー

千葉県立総北高等学校の新入生「小野田坂道」が同級生の「今泉俊輔」「鳴子章吉」との出会いで、「自転車で速く走る楽しみ」を見出し、自転車競技部に入部。上り坂に強いクライマーとしての資質を見出され、高校インターハイメンバー 6 人のうちの 1 人として活躍していく。